

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」平塚校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	パーティションで区切っている。利用者に合ったスペース作りを一人ひとりに合わせて設定している。	法令を遵守したスペースを確保している。支援内容に応じ、スペースを考慮している。
	②	職員の配置数は適切である	6	0	法令で必要とされる配置数である常勤6名を配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	個に応じたプログラム表やカード等で視覚提示し、構造化された環境作りをしている。パーティションでスペースの大きさを調節し、構造化で集中できる環境作りを行っている。	段差の箇所があるため、段差が分かりやすいよう、色テープで視覚化している。個に応じ、場所の移動がある際は指導員が必要箇所につくようにし、安全面の配慮が行われるようにしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	日々の清掃・消毒・換気に努めている。利用者の特性や課題に合わせた支援スペースをご案内している。	今後も生活空間を清潔で心地よく過ごせる環境になるよう、また、子ども達の活動に合わせた空間になるよう努めていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	日々の振り返りに加え、月末会議では月次での会議改善活動報告等を行っている。	今後も業務改善を進めるため、職員全体で目標設定と振り返りに参画して取り組んでいきたい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	保護者向けアンケートを実施し、保護者様の意向の把握、業務改善に努めた。	今後も職員全体で保護者等の移行等を把握し、業務改善に努められるようにしていく。

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	事業所としての自己評価を行い、昨年度の保護者向けアンケートの結果や改善内容の報告をホームページで公開している。	評価表の結果による支援の質の評価及び改善の内容をホームページとともに教室会報の「きりり通信」でもお伝えしていきたい。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	第三者による外部評価は行っていない。	今後は検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	法人内の発達支援研究所の定例研修、指導員勉強会、初任者研修、階層別研修、児発管研修等、研修の機会を確保し、職員の資質向上を行うよう努めている。	研修の機会の確保を今後行うとともに、自校舎での支援方法の情報交換や研修も引き続き行い、支援の資質の向上に努めていく。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	統一のアセスメントシートを用いて定期的にアセスメントやモニタリングを行っている。事業所内相談支援を定期的に行い、保護者のニーズをお聞きし、児童発達支援計画を作成している。	今後も引き続きアセスメントを適切に行い、子どものニーズや課題を丁寧に聞き取っていききたい。職員間で会議を行い、情報交換をすることで、客観的に分析した児童発達支援計画作成に努めてまいりたい。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	法人で定められたアセスメントシートを用いている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	児童に必要な支援を選択し設定をしており、その上で具体的な支援内容を設定している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	支援計画に沿った支援内容について、随時	毎回の支援を児童発達支援計画に沿った内容になっているか、今後も職員

				検討する場を設けている。	全体でチェック体制を取りながら進めていく。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	日々の情報交換を密に行い、共通理解をすることで、支援プログラムの立案をチームで行っている。	活動プログラムの立案については、今後も引き続き職員全体で取り組み、随時見直ししながら、支援を行っていく。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	構造化の観点から、プログラムをわかりやすく枠組み設定している。取り組む内容については、発達段階に応じてスモールステップでレベルアップをしたり、固定化したりしないよう、職員全体で話し合い、工夫している。	構造化を行うことで、今後も安心して取り組める環境設定を行っていく。支援内容については、レベルアップの仕方について職員間で情報交換を密に行い、魅力のある活動プログラムを行うことができるように努めていきたい。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	6	0	児童の状況やニーズに合わせ、状況を見ながら個別・集団の療育を組み合わせている。	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせることで児童発達支援計画を作成していく。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	前回の利用者の様子や内容、保護者の方とのお話の内容を踏まえ、支援を行うことができるよう、随時職員間で打ち合わせを行っている。	今後も職員間で打ち合わせを定期的に行い、支援の内容やねらいについて確認を行っていく。記録シートを活用し、今後も職員間での情報交換が円滑に行えるようしていく。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	業務に合わせ、打ち合わせの実施をしている。職員相互の情報共有を円滑するためのツールも適宜活用している。	今後も職員間での打ち合わせを定期的に行い、支援の振り返りや、引継ぎを行っていく。記録シートを活用し、情報の共有に努める。

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	毎回の支援の記録をとり、支援の検証・改善につなげている。	今後も日々の支援記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めていく。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	6か月ごとにモニタリングを行い、随時見直しもしている。	今後も状況が変化した際には随時支援計画の見直しを行っていく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	今年度は児発管が参加し、各事業所での活動内容や様子を情報交換した。	今後も様々な関係機関と連携した支援を行い、多角的な視点で支援を行っていくことができるよう、努めていく。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	保護者の要望に応じ、行政の発達支援室や保健センター、幼稚園・保育園への関係機関連携の実施を行っている	今後も様々な関係機関と連携した支援を行い、多角的な視点で支援を行っていくことができるよう、努めていく。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			現在、該当の利用者はない。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			現在、該当の利用者はない。	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	環境の変化や入園に向けて保護者への丁寧な傾聴時間を設けている。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	環境の変化や就学に向けて保護者への丁寧な傾聴時間を設けている。	移行支援として、今後も関係機関と支援内容等の情報共有と相互理解に努めていく。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	障がい児自立支援協議会こども部会未就園児部会分科会への	

				参加を行い、活動報告や情報交換等の連携を行った。		
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4	児童同士の交流は現状実施していない。必要に応じて情報交換を行っている。	今後も在籍児童の通園している園への連携訪問を通し、情報交換等行っていく。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	平塚市障がい児自立支援協議会こども部会未就園児部会分科会への会議への参加を行った。	今後も協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加していく。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	毎回の支援後のフィードバックの他に、事業所内相談支援を定期的に行い、児童の発達の状況について、保護者との共通理解が持てるよう努めた。	今後も事業所内相談支援を定期的に行い、子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持てるよう、努めていく。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0	保護者の対応力の向上を図る観点から、相談支援の中で「就学について」「合理的配慮」「感覚統合」「発語」等について、パワーポイントや書籍をお見せしながら説明し、ペアレント・トレーニングの支援をさせていただいた。	今後も保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行ってみたい。
保護者への説	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に保護者に説明を行い、理解を得ている。また、教室にも常時掲示し、閲覧できるようにしている。	

明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	6か月ごとにモニタリングや個別支援計画の作成を実施し、内容について保護者に説明し、同意を得ている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	毎回の支援後のフィードバック時や事業所内相談支援を定期的に行い、保護者の相談に応じ、必要なアドバイスと支援を行うようにしている。	今後も定期的に相談支援（面談）を行い、不安や困り感の気持ちに寄り添うことができるようにしていく。必要な助言と支援をともに考え、行っていくことができるよう、努めていく。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	例年「就学説明会」「就労」「中・高の進学」をテーマに保護者会等行ってきたが、後半は未開催となった。小集団療育の際に保護者同士で情報交換を行う方も見られた。	保護者会のニーズは高く、保護者同士の連携の場を求めている方が多い。今後も保護者同士の情報交換等の連携ができる会を定期的に設けていきたいと考えている。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	通所時はもちろん、LINE、メール、電話等でご相談を随時受け付けている。状況に応じ迅速かつ適切に対応するよう努めている。	今後も子どもや保護者からの相談や申し入れがあった場合に、迅速かつ適切に対応できるよう、職員全体で取り組んでいきたい。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	定期的に「きらり通信」の発行他、個別のカレンダーを作成し、予定の確認を行っている。また、ブログ、SNSを活用し、活動概要等の発信を行っている。	今後も定期的に「きらり通信」を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をわかりやすく発信していく。ブログやSNSを活用し、随時情報発信を行っていく。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	利用者の個人情報はファイル管理した上で施錠できる 書庫で保管している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	絵カードやジェスチャーを用いて、意思の疎通や情報伝達のためのわかりやすい配慮を行っている。保護者の方には状況に応じ、口頭だけでなく、メモやプリント、メールや LINE での配慮も行っている。	今後も障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っていきたい。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	コロナ禍の現状や、個別療育の事業所であるため、地域住民を招待する行事は行っていない	今後も引き続き情報交換等を行っていく。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練を月に1回実施している。
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	非常災害の発生に備え、月に1回の防災訓練を計画し、実施している。	今後も非常災害の発生に備え、月に1回の防災訓練のテーマに沿った計画を作成し、実施していく。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	契約時に保護者から情報をお聞きし、基本情報シートに記入いただいている。支援に入る前に情報の確認を行っている。	今後も保護者と情報交換を行い、こどもの状況を職員間で確認していく。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	食事の提供はないが、契約時に必ず聞き取り、基本情報シートに記入いただき、情報を職員間で共有している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	その都度ヒヤリハット表に記入し、事業所内で対策を検討している。	今後もヒヤリハット事例を随時記録し、情報共有することで、職員の意識をさらに高めていきたい。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	虐待防止委員会が組織化されている。全職員で研修に参加し、適切な対応が取れるようにしている。	今後も虐待を防止するため、職員の研修の機会を確保する等、適切な対応を継続していきたい。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	身体拘束の基準を重要事項説明書に記載し、契約時に保護者に説明を行っている。	よりわかりやすく保護者に説明し、また職員全体で考え方や意識を共有していきたい。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」平塚 校

保護者等数（児童数）：34人 回収数：32人 割合：94%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	0	0	0		法令を遵守したスペースを確保しているが、支援内容によっては、スペース確保に留意していきたい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	32	0	0	0		法令で必要とされる配置数である常勤6名を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28	2	0	2		今後も支援に集中できるように、わかりやすく構造化された環境設定が行えるよう努めていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31	1	0	0		活動内容に合わせ、パーティション等を用いて支援の空間を設定している。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	29	2	0	1	自分自身が何が必要なのかかめていないので、ニーズが変わってしまう。	今後も子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、計画立案を行っていききたい。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28	1	0	3		支援計画には、児童発達支援ガイドラインで示す支援内容から、個に応じた項目を選択した上で、具体的な内容設定を行っている。

	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30	1	0	1		毎回の支援の内容は、支援計画に沿った支援が行えるよう、引継ぎやミーティングを行っている。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	30	1	0	1		構造化の観点から、見通しを持ち、安心して活動に取り組めるよう、必要な項目の大きな流れはある程度固定化している。その中で個のニーズや発達段階に応じた内容をスモールステップで工夫して取り入れている。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	2	5	10	個別療育なので、問題ない。希望していないので問題ありません。日々、こども園に通っているため、きりり内では必要と感じていません。	個別療育を希望され通所されているため、児童同士の交流の場は設けることはしていない。在籍児童の通園している園への連携訪問を通し、情報交換等を行っている。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	30	0	0	2		「児童発達支援計画」に基づいた支援内容の説明の際は、さらにわかりやすい説明を心がけたい。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	23	3	1	5	アドバイスも適切ですし、実際の支援を見て、家でも参考にさ	相談支援の話の中で、「気持ちの切り替え」や「声かけ」「発語」等についてアドバ

							せてもらっていません。 幼稚園でのことや普段の生活での相談を聞いていただいたりして、疑問を解決できています。	イスさせていただきます。今後も保護者に対する支援も行ってまいります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	7	1	9		事業所内相談支援を定期的に行い、ご家庭や園での様子をお聞きしている。その課題に基づいた支援ができるよう今後も共通理解に努めたい。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	1	0	2		事業所内相談支援を定期的に行い、ご家庭や園での様子をお聞きしている。困り感に寄り添い、育児・発達に対する助言を行うよう努めた。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	30	1	0	1	今後そのような機会があればぜひ参加させていただきたい。他の保護者の方のお話、聞いてみたいです。入って間もないため、参加していません。	保護者会の開催として今まで講演会や懇談会を行ってきたが、今年後半の実施ができなかった。保護者のニーズも高いので、希望の方に出席いただけるような会を企画してまいります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	30	1	0	1		定期的な相談支援での聞き取りの他に、支援後のフィードバック、電話やLINE、メール等での相談を

							随時受け付け、早急に対応できるよう努めている。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	1	0	1	定期的な相談支援での聞き取りの他に、支援後のフィードバック、電話やLINE、メール等での相談や情報伝達を随時受け付けている。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29	1	0	2	定期的に「きりり通信」を発行し活動の様子やご連絡をお伝えしている。予定表は個別にカレンダーを作成しお渡ししている。またHPのブログやSNSでも活動の様子等の発信を行っている。また、昨年度の自己評価の結果については、HPに載せ、教室掲示も行っている。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	31	1	0	0	個人情報を保護・管理する体制を整え、運用を規定し、全ての職員がそれを遵守し、適切な管理に努めている。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	22	1	1	8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定している。保護者への周知・説明につとめてまいりたい。訓練については、

								防災委員会が組織化されており、訓練も実施している。
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	3	1	15	入って間もないため、わかりません。	月に1回の防災訓練を実施し、計画を教室掲示している。きり通信やHPのブログで地震の防災訓練の様子をお伝えしてきたが、今後はさらにわかりやすく周知していきたい。
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	31	0	0	1	毎回楽しみで、朝起きて「今日はきりだよ」と伝えると「やったー」とガッツポーズをします。終わった後は、「楽しかったね」と毎回言っています。自ら行きたいというくらい、毎週楽しみにしています。	今後もきりが安心できる、楽しみな場所となるよう努めていきたい。また、支援計画に基づいた質の高い支援を提供できるよう、今後も本人や保護者の方のニーズを把握し、情報交換を密に行い、進めていきたい。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	30	1	0	1	とても満足しています。通うようになってから、できなかったことが少しずつできるようになりました。	事業所の支援に満足いただけることを目標に、ニーズに基づいた計画立案、支援の実施と今後も職員全体で取り組んでいきたい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。